MS2850A-053 高速データ転送用 外部インタフェース PCle MS2850A-054 高速データ転送用 外部インタフェース USB3.0 取扱説明書

第2版

・製品を適切・安全にご使用いただくために, 製品をご使 用になる前に, 本書を必ずお読みください。
・本書に記載以外の各種注意事項は、MS2850Aシグナ
ルアナライザ取扱説明書 本体 操作編に記載の事項
に準じますので,そちらをお読みください。
・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

安全情報の表示について ――

当社では人身事故や財産の損害を避けるために、危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関す る情報を提供しています。記述内容を十分理解した上で機器を操作してください。 下記の表示およびシンボルは、そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また、外観図などが本書に含まれる とき、製品に貼り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

本書中の表示について



機器に表示または本書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに,または本書に,安全上および操作上の注意を喚起するための表示があります。 これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して,注意に従ってください。



MS2850A-053 高速データ転送用外部インタフェース PCle MS2850A-054 高速データ転送用外部インタフェース USB3.0 取扱説明書

2017年(平成29年)7月19日(初版) 2017年(平成29年)10月30日(第2版)

予告なしに本書の内容を変更することがあります。
 許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。
 Copyright © 2017, ANRITSU CORPORATION
 Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は、本製品が出荷時の検査により公表機能を満足することを証明します。

保証

- アンリツ株式会社は、本ソフトウェアが付属のマニュアルに従った使用方法にも かかわらず、実質的に動作しなかった場合に、無償で補修または交換します。
- ・ その保証期間は、購入から6か月間とします。
- ・ 補修または交換後の本ソフトウェアの保証期間は、購入時から6か月以内の残余の期間、または補修もしくは交換後から30日のいずれか長い方の期間とします。
- 本ソフトウェアの不具合の原因が、天災地変などの不可抗力による場合、お客様の誤使用の場合、またはお客様の不十分な管理による場合は、保証の対象 外とさせていただきます。

また,この保証は,原契約者のみ有効で,再販売されたものについては保証しか ねます。

なお、本製品の使用、あるいは使用不能によって生じた損害およびお客様の取引 上の損失については、責任を負いかねます。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については、本書(紙版説明書では巻末、電子版説明書では別ファ イル)に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり、外国の安全規格などに準拠していない場 合もありますので、国外へ持ち出して使用された場合、当社は一切の責 任を負いかねます。

 本製品および添付マニュアル類は、輸出および国外持ち出しの際には、 「外国為替及び外国貿易法」により、日本国政府の輸出許可や役務取引 許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、 日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があり ます。

本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は,事前 に必ず当社の営業担当までご連絡ください。

輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は, 軍事用途 等に不正使用されないように, 破砕または裁断処理していただきますよう お願い致します。

ソフトウェア使用許諾

お客様は、ご購入いただいたソフトウェア(プログラム、データベース、電子機器の動作・設定などを定めるシナリオ等、 以下「本ソフトウェア」と総称します)を使用(実行、複製、記録等、以下「使用」と総称します)する前に、本ソフトウェア 使用許諾(以下「本使用許諾」といいます)をお読みください。お客様が、本使用許諾にご同意いただいた場合のみ、 お客様は、本使用許諾に定められた範囲において本ソフトウェアをアンリツが推奨・指定する装置(以下、「本装置」と いいます)に使用することができます。

第1条 (許諾,禁止内容)

- 1. お客様は、本ソフトウェアを有償・無償にかかわら ず第三者へ販売,開示,移転,譲渡,賃貸,頒布, または再使用する目的で複製,開示,使用許諾す ることはできません。
- お客様は、本ソフトウェアをバックアップの目的で、 1部のみ複製を作成できます。
- 本ソフトウェアのリバースエンジニアリングは禁止させていただきます。
- 4. お客様は、本ソフトウェアを本装置1台で使用でき ます。

第2条 (免責)

アンリツは、お客様による本ソフトウェアの使用また は使用不能から生ずる損害、第三者からお客様に なされた損害を含め、一切の損害について責任を 負わないものとします。

第3条 (修補)

- お客様が、取扱説明書に書かれた内容に基づき 本ソフトウェアを使用していたにもかかわらず、本ソ フトウェアが取扱説明書もしくは仕様書に書かれた 内容どおりに動作しない場合(以下「不具合」と言 います)には、アンリツは、アンリツの判断に基づい て、本ソフトウェアを無償で修補、交換、または回 避方法のご案内をするものとします。ただし、以下 の事項に係る不具合を除きます。
 - a) 取扱説明書・仕様書に記載されていない使用目的 での使用
 - b) アンリツが指定した以外のソフトウェアとの相互干渉
 - c) 消失したもしくは,破壊されたデータの復旧
 - d) アンリツの合意無く,本装置の修理,改造がされた場合
 - e)他の装置による影響,ウイルスによる影響,災害,そ の他の外部要因などアンリツの責とみなされない要 因があった場合
- 前項に規定する不具合において、アンリツが、お客様ご指定の場所で作業する場合の移動費、宿泊費および日当に関る現地作業費については有償とさせていただきます。
- 3. 本条第1項に規定する不具合に係る保証責任期

間は本ソフトウェア購入後6か月もしくは修補後30 日いずれか長い方の期間とさせていただきます。

第4条 (法令の遵守)

お客様は、本ソフトウェアを、直接、間接を問わず、 核、化学・生物兵器およびミサイルなど大量破壊兵 器および通常兵器およびこれらの製造設備等関連 資機材等の拡散防止の観点から、日本国の「外国 為替および外国貿易法」およびアメリカ合衆国「輸 出管理法」その他国内外の関係する法律、規則、 規格等に違反して、いかなる仕向け地、自然人もし くは法人に対しても輸出しないものとし、また輸出さ せないものとします。

第5条 (解除)

アンリツは、お客様が本使用許諾のいずれかの条 項に違反したとき、アンリツの著作権およびその他 の権利を侵害したとき、または、その他、お客様の 法令違反等、本使用許諾を継続できないと認めら れる相当の事由があるときは、本使用許諾を解除 することができます。

第6条 (損害賠償)

お客様が、使用許諾の規定に違反した事に起因し てアンリツが損害を被った場合、アンリツはお客様 に対して当該の損害を請求することができるものと します。

第7条 (解除後の義務)

お客様は、第5条により、本使用許諾が解除され たときはただちに本ソフトウェアの使用を中止し、ア ンリツの求めに応じ、本ソフトウェアおよびそれらに 関する複製物を含めアンリツに返却または廃棄す るものとします。

第8条 (協議)

本使用許諾の条項における個々の解釈について 疑義が生じた場合,または本使用許諾に定めのな い事項についてはお客様およびアンリツは誠意を もって協議のうえ解決するものとします。

第9条 (準拠法)

本使用許諾は、日本法に準拠し、日本法に従って 解釈されるものとします。

計測器のウイルス感染を防ぐための注意

 ファイルやデータのコピー 当社より提供する、もしくは計測器内部で生成されるもの以外、計測器に はファイルやデータをコピーしないでください。 前記のファイルやデータのコピーが必要な場合は、メディア(USB メモリ、 CF メモリカードなど)も含めて事前にウイルスチェックを実施してください。
 ソフトウェアの追加 当社が推奨または許諾するソフトウェア以外をダウンロードしたりインストールしたりしないでください。
 ネットワークへの接続 接続するネットワークは、ウイルス感染への対策を施したネットワークを使 用してください。

ウイルス感染を防ぐための注意

インストール時

本ソフトウェア, または当社が推奨, 許諾するソフトウェアをインストールす る前に, PC(パーソナルコンピュータ)および PC に接続するメディア(USB メモリ, CF メモリカードなど)のウイルスチェックを実施してください。

本ソフトウェア使用時および計測器と接続時

- ファイルやデータのコピー 次のファイルやデータ以外を PC にコピーしないでください。
 当社より提供するファイルやデータ
 本ソフトウェアが生成するファイル
 本書で指定するファイル
 前記のファイルやデータのコピーが必要な場合は、メディア(USB メモリ、CF メモリカードなど)も含めて事前にウイルスチェックを実施してください。
- ネットワークへの接続
 PC を接続するネットワークは、ウイルス感染への対策を施したネット
 ワークを使用してください。

ソフトウェアを安定してお使いいただくための注意

本ソフトウェアの動作中に, PC 上にて以下の操作や機能を実行すると, ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

- ・ 当社が推奨または許諾するソフトウェア以外のソフトウェアを同時に実 行
- ・ ふたを閉じる(ノート PC の場合)
- ・ スクリーンセーバ
- バッテリ節約機能(ノート PC の場合)

各機能の解除方法は、使用している PC の取扱説明書を参照してください。

はじめに

この説明書は, MS2850A-053 高速データ転送用外部インタフェース PCIe, MS2850A-054 高速データ転送用外部インタフェース USB3.0 の操作方法について記述したものです。

■取扱説明書の構成

MS2850A シグナルアナライザの取扱説明書は、以下のように構成されています。

MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書 (本体 操作編)

MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書 (本体 リモート制御編)

MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書 (シグナルアナライザ機能 操作編)

MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書 (シグナルアナライザ機能 リモート制御編)

MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書 (スペクトラムアナライザ機能 操作編)

MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書 (スペクトラムアナライザ機能 リモート制御編)

MS2850A-053 高速データ転送用外部インターフェース PCle MS2850A-054 高速データ転送用外部インターフェース USB3.0 取扱説明書

- シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 操作編)
- シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 リモート制御編)
 本体の基本的な操作方法,保守手順,共通的な機能,共通的なリモート制御などについて記述しています。
- シグナルアナライザ 取扱説明書 (シグナルアナライザ機能 操作編)
- シグナルアナライザ 取扱説明書 (シグナルアナライザ機能 リモート制御編)
 シグナルアナライザ機能の基本的な操作方法,機能,リモート制御などについて記述しています。
- シグナルアナライザ 取扱説明書 (スペクトラムアナライザ機能 操作編)
- シグナルアナライザ 取扱説明書 (スペクトラムアナライザ機能 リモート制御編) スペクトラムアナライザ機能の基本的な操作方法,機能,リモート制御などについて記述しています。
- MS2850A-053 高速データ転送用外部インタフェース PCle MS2850A-054 高速データ転送用外部インタフェース USB3.0 取扱説明書 <本書> 高速データ転送用外部インタフェースの基本的な操作方法,機能について記 述しています。

目次

はじめに		I
------	--	---

第	1章	概要	1-1
	1.1	製品概要	1-2
	1.2	製品構成	1-3
	1.3	ソフトウェア	1-5
	1.4	応用部品の性能	

第2章	準備	2-1
2.1	各部の名称	2-2

2.2 MS2850A-053の準備......2-3
 2.3 MS2850A-054の準備......2-5

3.1	動作環境3-2	
3.2	インストールとアンインストール手順 (Windows 編) 3-3	

第4章 サンプル・ソフトウェア4-1

4.1	起動と終了	
4.2	ヘルプ機能	4-4



この章では, 高速データ転送用外部インタフェース PCIe/USB3.0 の概要につい て説明します。

1.1	製品概要	1-2
1.2	製品構成	1-3
	1.2.1 標準構成	1-3
	1.2.2 応用部品	1-4
1.3	ソフトウェア	1-5
1.4	応用部品の性能	1-6

1

1.1 製品概要

MS2850A-053/153 高速データ転送用外部インタフェース PCIe (以下, MS2850A-053) および MS2850A-054/154 高速データ転送用外部インタフェー ス USB3.0 (以下, MS2850A-054) は, MS2850A シグナルアナライザ (以下, 本器) で受信した信号を取得したデータ (IQ データ) を外部 PC へ高速転送する オプションです。

本オプションの特徴は以下のとおりです。

MS2850A-053/153 高速データ転送用外部インタフェース PCIe

- ・ データ転送速度 最大 4 GB/s
- ・ 通信規格 PCIe (PCIe Gen 2 x8 リンク)
- ・ インタフェース PCIe

注:

本器と外部 PC を接続するためには,「1.2.2 応用部品」に記載している PCIe Host Adapter と PCIe x8 Cable, または同等品を用意する必要があ ります。

MS2850A-054/154 高速データ転送用外部インタフェース USB3.0

- ・ データ転送速度 最大 500 MB/s
- ・ 通信規格 USB 3.0
- インタフェース USB 3.0 Type B

注:

本器と外部 PC を接続するためには、USB3.0 に準拠したケーブルを用意 する必要があります。

1.2 製品構成

1.2.1 標準構成

MS2850A-053, MS2850A-054の標準構成は以下のとおりです。

表 1.2.1-1 MS2850A-053 の構成

形名	品名	備考
MS2850A-053	高速データ転送用外部インタフェース PCIe	
付属品	Software for High Speed Data Transfer	付属 DVD-R に格納
	取扱説明書	

表 1.2.1-2 MS2850A-153の構成

形名	品名	備考
MS2850A-153	高速データ転送用外部インタフェース PCIe 後付	
付属品	Software for High Speed Data Transfer	付属 DVD-R に格納
	取扱説明書	

表 1.2.1-3 MS2850A-054 の構成

形名	品名	備考
MS2850A-054	高速データ転送用外部インタフェース USB3.0	
付属品	Software for High Speed Data Transfer	付属 DVD-R に格納
	取扱説明書	

表 1.2.1-4 MS2850A-154 の構成

形名	品名	備考
MS2850A-154	高速データ転送用外部インタフェース USB3.0 後付	
付属品	Software for High Speed Data Transfer	付属 DVD-R に格納
	取扱説明書	

1

1.2.2 応用部品

MS2850A-053/153/054/154 の応用部品は以下のとおりです。これらはすべて別売りです。

形名	品名	備考
W3950AW	MS2850A-053 高速データ転送用外部インタフェース PCIe MS2850A-054 高速データ転送用外部インタフェース USB3.0 取扱説明書	冊子
U0088A	PCIe Host Adapter	MS2850A-053/153 用
J1749A	PCIe x8 Cable (2m)	MS2850A-053/153 用

表 1.2.2-1 応用部品

1

概要

1.3 ソフトウェア

MS2850A-053, MS2850A-054 は、下記付属のソフトウェアを外部 PC にインストールして使用します。「第3章 インストール方法」を参照してください。

表 1.3-1 高速データ転送用ソフトウェア

品名	備考
Software for High Speed Data Transfer	高速データ転送用 API ライブラリとサンプルソフトウェ アなどから構成されます。

データ転送可能な時間の最大値は本器の IQ データ取り込み時間に依存します。 本器の設定に関しては『MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ 取扱説明書 シグナルアナライザ機能操作編』「表 2.4.1-1 周波数スパンと設定分 解能・設定範囲 (続き)」を参照してください。

項目	転送可能な IQ データ				
受信信号帯域幅 (MHz)	50 / 62.5	100 / 125	250	510	1000
サンプリングレート (MHz)	81.25	162.5	325	650	1300

表 1.3-2 転送可能な IQ データ

(MHz)	0010210	1007 120		010	1000
サンプリングレート (MHz)	81.25	162.5	325	650	1300
最大 IQ データサイズ	32 GBytes				
記録データ形式	『MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ 取扱説明書 シグナルアナ ライザ機能操作編』「5.1.2 データファイルのフォーマット」を参照してください。				

1.4 応用部品の性能

MS2850A-053 を使用していただくための応用部品の性能を下記に記載します。 代替品を使用する際の参考としてください。

形名	品名	性能	
U0088A	PCIe Host Adapter	ADLINK 製 PCIe-8638 (PCI Express x8 host adapter for extension kit) ・ 温度範囲: 0~55°C ・ 保管温度: -20~70°C ・ 湿度: 10~90% (結露無きこと) ・ PCI Express Base Specifications Rev. 1.0a 準拠 ・ PCI Express Gen2 x8 (データスループット: 4 GB/s) ・ Low-profile PCI Express card: 142 (W) × 69 (H)	
J1749A	PCIe x8 Cable (2m)	ADLINK 製 ACL-PCIEX8-2-2 meter cable • PCI Express External Cabling Specification Rev. 2.0 準拠	

第2章 準備

この章では、MS2850A-053、MS2850A-054 を使用するための準備について説明します。なお、本書に記載されていない本器の共通機能については、 『MS2850A シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 操作編)』を参照してください。

2.1	各部の	名称	2-2
	2.1.1	背面パネル	
2.2	MS285	50A-053 の準備	
	2.2.1	本器と外部 PC の接続	
	2.2.2	電源の起動	2-4
	2.2.3	電源の切断	2-4
2.3	MS285	50A-054 の準備	
	2.3.1	本器と外部 PC の接続	2-5

準備

2.1 各部の名称

この節では、MS2850A-053、MS2850A-054で使用する、本器と外部 PC を接続 するためのコネクタの説明をします。ここに記載されていない項目,または一般的 な取り扱い上の注意については、『MS2850A シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 操作編)』を参照してください。

2.1.1 背面パネル

背面パネルに配置されているコネクタについて説明します。



PCle X8 コネクタ

図 2.1.1-1 MS2850A 背面パネル

表示	名称	機能
(Opt)	USB3.0 コネクタ	本器と外部 PC を USB ケーブルで接続するコネクタ (コネク タ・タイプ:B) です。 本器と外部 PC のデータ転送を行うときに使用します。 MS2850A-054 専用コネクタになります。
PCIe X8 (Opt)	PCIe X8 コネクタ	本器と外部 PC を PCIe ケーブルで接続するコネクタです。 本器と外部 PC のデータ転送を行うときに使用します。 MS2850A-053 専用コネクタになります。

2.2 MS2850A-053の準備

MS2850A-053 を使用するためには、本器と外部 PC を正しい手順で起動・終了 する必要があります。ここでは本器と外部 PC の電源の起動手順と使用後の電源の 切断手順について説明します。

2.2.1 本器と外部PCの接続

MS2850A-053 により、本器から外部 PC ヘデータ転送するには、背面パネルの PCIe X8 コネクタに、PCIe ケーブルを接続します。

接続の際には、あらかじめ外部 PC に PCI Express の規格に準拠した PCIe ホスト・アダプタを搭載しておく必要があります。また、本器と外部 PC を接続する PCIe ケーブルにおいても PCI Express の規格に準拠したものを使用してください。

外部 PCの PCIe ホスト・アダプタのセットアップ手順については、購入された PCIe ホスト・アダプタの取扱説明書を参照してください。

注:

MS2850A-053 は PCIe ケーブルを通してキャプチャデータを高速に本器 から外部 PC へ転送するための機能であり, PCIe ケーブルを通して本器を リモート制御することはできません。

本器をリモート制御するときは、『MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書(本体 リモート制御編)』を参照して別途リモート制御用のインタフェースを接続して ください。



図 2.2.1-1 外部 PC との接続例 (PCle)

準備

2.2.2 電源の起動

電源の起動手順は次のとおりです。

<手順>

- 1. PCIeケーブルが外部 PCと本器に正しく接続されていることを確認します。
- 2. 本器の電源を入れます。
- 3. 本器が正常に起動した後,外部 PC の電源を On にします。

注:

外部 PC によっては本器接続後,外部 PC 起動において本器を認識できないことがあります。接続直後の起動で本器を認識できなかった場合には外部 PC を再起動してください。



本器と外部 PC の電源が On のとき, ケーブルを取り外さないでくだ さい。稼働中にケーブルを外すと, 予期せぬシステムエラーやシス テムクラッシュを引き起こす可能性があります。

2.2.3 電源の切断

電源の切断手順は次のとおりです。

<手順>

- 1. 外部 PC の電源を切ります。
- 2. 外部 PC の電源が Off となった後,本器の電源を切ります。



外部 PC の電源が Off になるまで、本器の電源を切らないでください。外部 PC の電源が入っているときに本器の電源が Offになると、 外部 PC がハングアップまたはクラッシュすることがあります。

2.3 MS2850A-054 の準備

MS2850A-054を使用するための準備は以下のとおりです。

- 1. 本器と外部 PC を接続します。
- 本器と外部 PC の電源を投入します。
 MS2850A-054を使用する場合,本器と外部 PC の電源投入,切断に特別な 順序はありません。

2.3.1 本器と外部PCの接続

MS2850A-054 により、本器から外部 PC ヘデータ転送するには、背面パネルの USB3.0 コネクタに、USB ケーブルを接続します。

USB ケーブルは,規格に準拠したケーブルを使用してください。MS2850A-054 は USB ケーブルおよび,外部 PC 側が USB2.0 規格または USB1.1 規格でも使用可能です。この場合,伝送速度は外部 PC 側の規格に準じます。

注:

MS2850A-054 は USB3.0 ケーブルを通してキャプチャデータを高速に本 器から外部 PC へ転送するための機能であり、USB3.0 ケーブルを通して本 器をリモート制御することはできません。

本器をリモート制御するときは、『MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 リモート制御編)』を参照して別途リモート制御用のインタフェースを接続して ください。



図 2.2.2-1 外部 PC との接続例 (USB)

準備

第3章 インストール方法

この章では、本オプションを使用するための高速データ転送用ソフトウェア (Software for High Speed Data Transfer:以下、本ソフトウェア)を外部 PC へ インストール、アンインストールする手順(Windows編)とSDKをセットアップする 手順(Linux編)について説明します。

3.1 動作環境

本ソフトウェアは次の環境で動作します。

表 3.1-1 動作環境

外部 PC		
OS	Windows:	Windows 7 (64/32-bit) Professional/Enterprise/Ultimate
		Windows 10 (64/32-bit)
	Linux:	CentOS 7
CPU	1 GHz 以上	
メモリ	2 GB 以上	
記憶媒体	本ソフトウェン 容量があるこ	アをインストールするドライブに 5 GB 以上の空き こと

3.2 インストールとアンインストール手順 (Windows 編)

本ソフトウェアの Windows 用ソフトウェアのインストールは, セットアッププログラム を起動することにより, 対話形式でインストールできます。

ウィルスチェックプログラムを実行している場合は、ウィルスチェックプログラムを終 了してからセットアッププログラムを起動してください。また、実行中の Windows ア プリケーションは、あらかじめ終了してください。

本器と外部 PCを PCIe ケーブルで接続している場合,本器の電源を Offにしてお く必要があります。電源の切断手順は「2.2.3 電源の切断」を参照してください。切 断後,外部 PC の電源だけを再度 On にしてください。

3.2.1 インストール手順

以下の手順で本ソフトウェアの Windows 用ソフトウェアを外部 PC のハードディス クに追加します。

本ソフトウェアをアップグレードする場合の手順はインストール手順と同じです。

<手順>

- 本ソフトウェアが収められたフォルダにある 32 bit 用「setup_x86_vX.X.exe」, または、64 bit 用「setup_x64_vX.X.exe」をダブルクリックします。本ソフト ウェアのセットアップディスクを使ってインストールを行う場合は、セットアップ ディスクの [¥High Speed Data Transfer¥Windows] フォルダに収めら れている CPU-32 bit 用「setup_x86_vX.X.exe」,または、CPU-64 bit 用 「setup_x64_vX.X.exe」をダブルクリックします。
- 本ソフトウェアのセットアッププログラムが起動し、「Welcome to the InstallShield Wizard for Software for High Speed Data Transfer.」の メッセージが表示されたら、[Next>] をクリックします。
- 3. License Agreement 画面では、ライセンス条項に同意する場合は、[Yes] をクリックします。同意しないと次に進めません。
- 「Destination Folder」にインストールするディレクトリパスが表示されます。
 変更する場合は [Change...] をクリックし、ディレクトリ変更ダイアログボック スでインストールするディレクトリを指定します。指定するディレクトリのあるドラ イブに空き容量が十分にあることを確認してください。空き容量については 「3.1 動作環境」を参照してください。本ソフトウェアはテンポラリデータをイン ストールされたフォルダの下に作成します。[Next>] をクリックします。
- 5. [Install] をクリックすると、インストールを開始します。
- 「InstallShield Wizard Completed」のメッセージが表示されたら、[Finish] をクリックします。

3.2.2 アンインストール手順

以下の手順で本ソフトウェアの Windows 用ソフトウェアを外部 PC のハードディス クから削除します。

Windows 7 の場合

<手順>

- 1. タスクバーの [スタート] をクリックし, [コントロールパネル] をクリックします。
- 2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。
- プログラム一覧の中から [Software for High Speed Data Transfer] をク リックし、反転表示させます。
- 4. [アンインストール]をクリックします。
- 5. アンインストール実行中に共有しているファイルの削除の確認メッセージが表示されることがあります。確実に共有していない場合を除き, [NO] を選択してください。誤って共有ファイルを削除すると, ほかのアプリケーションが動作しなくなる原因になります。

注:

- 共有ファイルの削除により、ほかのアプリケーションが動作しなくなること があります。共有しているか判断できない場合は、削除しないでください。
- ・ 誤って削除した場合,本ソフトウェアを再インストールすることで復旧でき る場合があります。

Windows 10 の場合

<手順>

- タスクバーの [スタート] をクリックし, [設定] をポイントします。次に [システム] をクリックします。
- 2. [アプリと機能] をクリックします。
- プログラム一覧の中から [Software for High Speed Data Transfer] をク リックします。
- 4. [アンインストール]をクリックします。
- 5. アンインストール実行中に共有しているファイルの削除の確認メッセージが表示されることがあります。確実に共有していない場合を除き, [NO] を選択してください。誤って共有ファイルを削除すると, ほかのアプリケーションが動作しなくなる原因になります。
- 注:
- 共有ファイルの削除により、ほかのアプリケーションが動作しなくなること があります。共有しているか判断できない場合は、削除しないでください。
- ・ 誤って削除した場合,本ソフトウェアを再インストールすることで復旧でき る場合があります。

インストール方法

3.3 SDK セットアップ (Linux 編)

本ソフトウェアのLinux用Software Driver Kit (以降, SDK) は, 圧縮ファイルを 解凍することにより、セットアップできます。

本器と外部 PCを PCIe ケーブルで接続している場合,本器の電源を Off にしてお く必要があります。電源の切断手順は「2.2.3 電源の切断」を参照してください。切 断後,外部 PC の電源だけを再度 On にしてください。

3.3.1 セットアップ手順

以下の手順で本ソフトウェアの SDK を Linux CentOS の外部 PC のハードディス クに追加します。

本ソフトウェアをアップグレードする場合の手順はセットアップ手順と同じです。

<手順>

- 本ソフトウェアの SDK が収められたフォルダにある
 「DataTransfer_Linux_vX.X.tar.gz」を選択して
 tar -zxvf DataTransfer_Linux_vX.X.tar.gz
 のコマンドを入力して解凍します。本ソフトウェアのセットアップディスクを使っ
 てインストールを行う場合は、セットアップディスクの
 [¥High Speed Data
 Transfer¥Linux] フォルダに収められている
 「DataTransfer_Linux_vX.X.tar.gz」を選択して同様に解凍します。
- 本ソフトウェアの SDK の詳細説明に関しては、SDK に含まれている datatransfer_linux_user_guide.pdf または、 datatransfer_linux_programmer_guide.pdf を参照してください。

第4章 サンプル・ソフトウェア

この章では、MS2850A-053、MS2850A-054に付属しているWindows上で動作 する Streaming Demo (以下、サンプル・ソフトウェア) について説明します。 Streaming Demo 以外のソフトウェアに関しては、SDK に含まれている Readme ドキュメントファイルを参照してください。

4-3

4.1 起動と終了

サンプル・ソフトウェアの起動と終了について説明します。

4.1.1 サンプル・ソフトウェアの起動

以下の手順に従って,サンプル・ソフトウェアを起動します。

<手順>

 インストール先のフォルダにある StreamingDemo.exe を起動します。 インストール時にインストール先の設定を変更した場合は、パスが異なりま す。 インストール先のフォルダ構成がデフォルトの場合:

"C:\Anritsu\Data Transfer\Demo\StreamingDemo.exe"

- 2. 起動すると図 4.1.1-1 の画面が表示されます。
- 注:

サンプル・ソフトウェアのバージョンによって画面が異なる場合があります。

↑ Streaming Demo	
File Remote Help	
Instrument Setting	
Frequency: 5 GHz -	Capture Time: 20 ms 🔻
Span: 1000 MHz 💌	Set
- Beading Setting	
Buffer Size: 200 MB -	Transfer Mode: PCIe 👻
Data Size: 198 MB 🔻	Set
Transferred Data Progress(%)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
🔲 Save Transferred Data	Start

図 4.1.1-1 サンプル・ソフトウェア画面

4.1.2 サンプル・ソフトウェアの終了

サンプル・ソフトウェアは画面右上の をクリックして終了します。

A Streaming Demo	
File Remote Help	
Instrument Setting	
Frequency: 5 GHz -	Capture Time: 20 ms 💌
Span: 1000 MHz 🛛 👻	Set
Reading Setting	
Buffer Size: 200 MB 🗸	Transfer Mode: PCIe 🔹
Data Size: 198 MB 💌	Set
Transferred Data Progress(%)	
0	
Save Transferred Data	Start

図 4.1.2-1 サンプル・ソフトウェア画面 (終了操作)

4.2 ヘルプ機能

ここでは、ヘルプ機能の使用方法について説明します。

サンプル・ソフトウェアの使用方法は、ヘルプ機能から参照します。

<手順>

- 1. サンプル・ソフトウェア画面の [Help] タブをクリックします。
- 2. [Documentation] をクリックし, [Streaming Demo Manual] をクリックしま す。

注:

サンプル・ソフトウェアのバージョンによって画面が異なる場合があります。

▲ Streaming Dem	0	
File Remote	Help	
Instrument Setting	Documentation	API Reference
Frequency: 5	About API	Streaming Demo Manual
Same 100	Contact Us	
Span. 1000 MHz V		
Reading Setting		
Buffer Size: 200 MB - Transfer Mode: PCIe -		
Data Size: 198	MB -	Set
Transferred Data Progress(%)		
0		
Save Transferred Data		
1		

図 4.2-1 サンプル・ソフトウェア画面 (ヘルプ機能操作時)